

# 木野評論 3・1988



19



美術への一視点	安藤邦洋	1
メルロリポンティにおける絵画論と哲学	千阪靖朗	17
トリスタン・ツァラ「ピカソと認識の道」	稲浦嘉穎	32
'87年度複合講座「人権と差別」を振り返って	講座担当グループ	42
図書館利用教育再考	荒岡興太郎	62
南カリフォルニア大学を訪問して	景山喜巳	72
—管理運営・財政・国際交流の現状—		
【研究ノート】CAIからニューメディアをさぐる	川合哲郎	79
電話のコミュニケーション	渡辺潤	88
—距離の消滅、あるいは無限の距離—		
子規の写生及び写生論とその伝承(上)	山下幸雄	107
「井深アピール」とその要点(一)	野上芳彦	124
—新しい教育の視点(四)—		

パロディ論——芭蕉の俳諧	片木篤	140
点字の成立過程と現状	岡村広子	153
英語教育に関する一考察	梶井弥壽子	163
日本語の代名詞表現 その一考察と日本語教育	梶川よ志子	174
留学生への日本語指導を振り返って	桑平とみ子	181
形と生命	福田市朗	199
—形への心理学的な問い—		
近世以降の京都周辺竹林の変遷	小椋純一	216
—都市周辺の自然景観に関する一考察—		
ニューメディア コンピューター通信への案内	岩崎正春	221
女はどう見るか?	「芸術と女性」共同研究グループ	240
—シュザンヌ・ヴァラドンの作品における女性ヌード—		